

上棟式について

◀ 上棟式とは？ ▶

上棟式は建前（タテマエ）とも呼び、建物の守護神と匠の神を祀って無事に棟が上がったことに感謝し、完成までの無事と安全を祈願する儀式です。

現在では上棟の「儀式」というよりも「お祝いの会」「もてなしの会」という意味が強くなっているともいわれています。地域性もありますが、省略するケースも増えてきています。

◀ 施主様側でご準備頂くもの ▶

- ①酒（清酒）：2升
- ②お米：2合
- ③塩：1合
- ④鏡餅：1重（紅白）
- ⑤海の幸：尾頭付きの魚（季節により異なるが鯛などが一般）、昆布（カットしていない乾燥昆布を2～3枚）・するめ等
- ⑥野菜：大根、人参、なす、キュウリ等旬の野菜何種類か
果実：りんご、みかん、バナナ等旬の果物何種類か

◀ 施工者側で準備するもの ▶

- ・幣束
上棟セット（幣手・扇・麻）
- ・三方
- ・半紙
- ・丸盆
- ・湯呑（紙コップ）



◀ 棟梁へのご祝儀について ▶

- ・2～5万円が一般的な価格です。祝儀袋の表には「御祝儀」と書きます。

《 上棟式当日の職人さんへのお礼について 》

上棟の際には職人さんのお弁当(昼食)を振る舞うのが一般的です。人数分(6人~10人分ほど)のお弁当と飲み物の用意をします。その他、地域や施主様の思いによっては手土産や、金一封等を配ることもあります。

*お弁当に関しては家印が代行手配することも可能です。

(1000円より)

家印ではお弁当だけを私どもに頼まれ、汁物・漬物などを施主様をご用意されることが多いです。

また、10時と15時に休憩がありますので、そこでお菓子や飲み物をご用意されることが多いです。



《 上棟式当日について 》

夕方4時~5時頃、作業が一区切りついた時に式を始めます。当日、時間になりましたら式の開始時間をお伝えますので供物の準備をしてお越し下さい。

棟梁へのご祝儀は上棟式後にお渡しください。



《 上棟式の流れについて 》

棟梁に祝詞を読み上げて頂き(各棟梁の流儀によります)、供物の前で一人ずつ二礼二拍手一礼をします。その後、お米・お塩・お酒を家の角にまきます。皆様で献杯して終了となります。

*式後にご家族様の記念撮影を行いたいと思っております。

《 上棟式の服装について 》

昔は礼服でしたが、今はカジュアルになってきており、それでも特に問題はありません。一般的にはセミフォーマル(襟付き・ワンピース等)で参列される方が多いです。

《 その他 》

上記はあくまで一例です。

富山県内でも風習等で異なる場合がございます。

気になる点、ご不明な点ございましたら担当者又は弊社までご相談ください。

